



#彩の国けんけつ NEWS !!

第11号
～2022年春～



コラボ



／ こんにちは！！
埼玉県立常盤高等学校 看護科 JRC（青少年赤十字）部です！
常盤高校は、5年間で看護師を養成する専門高校です♪
未来の看護師である私たちから、埼玉県民の皆さんへ献血情報をお送りします！

テーマ：献血された血液はどうやって患者さんのもつに届けられるの？



▲埼玉県赤十字血液センター

2019年秋第6号で取り上げた内容になりますが、JRCに新たなメンバーが加わったので改めてご紹介します！今回、私たちJRCは埼玉県赤十字血液センター(さいたま市見沼区)へ行ってきました！ここは、病院で必要な血液製剤を保管していたり、献血バスが置いてありました。そこで、私たちが学んだことを皆さんに知ってもらえたら嬉しいです！集められた血液がどのように運ばれていくのか「集める」「調べる」「作る」「保管する」「届ける」の5つに工程を分けてご紹介します！



1. 「集める」

埼玉県は7カ所の献血ルームと10台の献血バスがあり、皆さんに献血ご協力いただき血液を集めます。献血バスは平日最大7台が配車され、皆さんの街へ伺います！新型コロナウイルス感染症拡大で献血バスの受入れが中止となった献血会場が多く発生したようです。そのため、埼玉県赤十字血液センターでは新たに献血バスを受け入れてくれる企業や団体を募集しています！ご興味のある方は献血推進課（048-720-8009；平日9時～17時）までご連絡ください！



献血バスには安全に献血できるように様々な工夫がされているのです！詳しくは次号(12号)にて紹介させていただきますので、そちらを見ていただくと嬉しいです！



▲献血バス車内の様子



▲大宮献血ルームウエスト

2. 「調べる」 3. 「作る」



▲関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所

集められた血液は東松山市にある「関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所」へ運ばれます！ここには東京都(一部)、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県、長野県、山梨県の各地から血液が運ばれます。関東甲信越ブロックには他にも辰巳製造所、神奈川製造所の計3つの製造所があり、全国の約37%の血液が集まります。この製造所では、集められた血液を「調べる」、血液製剤を「作る(製造する)」の2つの作業が行われています。血液製剤として製造され、患者さんのもつへお届けできる状態になった血液は再び血液センターに運ばれ、病院で必要な時まで保管されます。ちなみに血液製剤には「全血製剤」「赤血球製剤」「血漿製剤」「血小板製剤」の4種類あります。



4. 「保管する」

医療機関に安定的にお届けするため、赤血球製剤は平日に使用される量の3日分をストックしています。製剤の種類により、迅速に納品可能な『在庫製剤』と、納品までに時間を要する『予約製剤』に分かれます。血小板は予約製剤のため、ストック数には変動があります。皆さんからいただいた血液は見た目が見えませんが、数種類の血球成分、血液型など様々な分け方があり、血液製剤によって扱いが大きく異なります。血液製剤バッグには、期限や血液型などが表示されたラベルが貼られています。血液型の種類によって【A(黄)、B(白)、O(青)、AB(ピンク)】(図1)と色分けされており、取り間違いなどの医療事故を未然に防ぐための工夫がされています。また、血液製剤は医療品扱いのため、取り扱い説明書も同封されています。

図1

▼血液型によって4色に分かれている！！



図2
低温作業台



【赤血球製剤】
保管温度：2～6℃
有効期限：21日間



【血漿製剤】
保管温度：-20℃以下
有効期限：1年間



【血小板製剤】
保管温度：20～24℃
有効期限：4日間



血液製剤によって保管温度も異なるため、血液型別・製剤別の冷蔵庫か冷凍庫で保管されています。変質を防ぐため、仕分け作業などは低温作業台(冷凍と冷蔵が使える台)(図2)を使って行われていました。

5. 「届ける」

血液運搬車



血液製剤は1日2回の定期便で病院へお届けします。病院によっては血液製剤をストックしていますが緊急で血液が必要になったときは、血液センターから緊急走行で届けます。このような緊急依頼は県内で月に約100回も発生しています。サイレンを鳴らして走るこの車を見たら道を譲ってください！今まで病院は血液を発注する時、FAXをメインに使用していました。しかしWebでの発注が普及し、現在は約半分の発注がWebからとのことです。



また、届けるのは埼玉県内の病院だけではありません。埼玉県外の地域で血液が足りなくなった場合は、他県へ血液を送ることになります。

★編集後記

今回は血液が患者さんのもとに届くまでの流れについて紹介しました！集められたところから血液センターまでの血液の流れは理解していただけただけでしょうか？実際に血液センターに取材をさせていただいて私たち自身も勉強になることばかりでとてもいい経験になりました。今回のけんけつNEWSを読んで献血に少しでも興味を持ってくれたら嬉しいです。次回は血液運搬車と献血バスについて、またコロナ禍で変化した献血について紹介します♪最後までお読みくださり、ありがとうございました。献血についてもっと知りたいと興味をもってくくださった方は以前発行した「彩の国けんけつNEWS!!」もチェックしてみてくださいね♪

励みになります！
感想やリクエストは
こちらまで ↓



埼玉県赤十字血液センター
総務課企画係
st-kikaku@ktkcs.bbc.jrc.or.jp